

◆第13回 テーマ別読解演習「詩」①

今回から詩の学習になります。詩を難しいと感じる方は、次の点に注意して読むことが大切です。まず、詩を読んだら、具体的な情景のイメージを頭の中にかべることです。そして、そこから作者は何が良かったのかの主題にせまらしましょう。詩には比喩的表現が多く使われていますので、その意図を考えることも重要です。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

⊖ 問一 詩で使われる表現技法の意味はしっかりとおさえておきましょう。

問七 主題を問う問題です。こういうレベルになれていきましょう。

Ⓞ 問三 具体化の問題です。

問四 この詩のおもしろさを具体化する問題です。ここから問五の主題にせまらいきましょう。

・ 問三 空欄補充の問題です。人生の苦しみを読み取って、それにふさわしい表現を選びましょう。

問五 この詩では 25 メートルプールを人生にたとえています。こういう独特な発想を味わいましょう。

宿題 問二 比喩的表現ですが、結局どういうことが良かったのかを考えます。

問五 詩を大きく場面分けすることで、詩の内容が読みやすくなります。

◆第14回 テーマ別読解演習「詩」②

今回も詩の学習になります。詩に多く使われている表現技法は、何といても比喩的表現です。比喩を比喩と気付かずに読むと、何のことか、さっぱりわかりません。もし、意味がわからないと感じた時は、その表現が比喩ではないかと考えてみましょう。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

⊖ 問一 詩で使われる表現技法の意味はしっかりとおさえておきましょう。

問五 この詩の主題をおさえましょう。

Ⓞ 問二 詩を大きく場面分けすることで、詩の内容が読みやすくなります。

問八 「掘る」という言葉に込められた意味をおさえましょう。

・ 問四 対比の表現に注意しましょう。

問五 詩の中に使われている表現技法をおさえ、そしてその働きを考えてみましょう。

宿題 問二 具体化の問題です。それぞれの選択肢を読んで、その違いをおさえましょう。

問三 まずは、「矛盾」の意味を確かめましょう。そしてこの詩の中に当てはめて考えてみましょう。

◆第15回 テーマ別読解演習「人間関係」①／物語文

今回は物語文で、テーマは「人間関係」です。登場人物が、相手に対して抱く思いは、必ずしもそのままつたわるということはなく、そのためお互いの間に「ずれ」が生じてすれちがいがおこる場合があります。人間関係は決して単純なものではなく、複雑であり、その微妙な点を読解できるようにします。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問四 心情記述の問題です。その心情になった理由もあわせて書くようにしましょう。
問六 他人に対する評価が書かれています。
問七 傍線部の表現にも注意しながら、正しい選択肢を選びましょう。
- ㍻ 問三 傍線部のあとをうまくまとめましょう。
問五 作者がそれぞれの登場人物をどのように描いているかを考える問題です。先生の会話や態度から読み取りましょう。
問八 自分の思いが相手に伝わらないもどかしさを読み取りましょう。
- 宿題 問六 この胸の痛みを具体化しましょう。
問九 正誤問題は、基本的に消去法で対処しましょう。

◆第16回 テーマ別読解演習「人間関係」②／物語文

今回も物語文で、テーマは「人間関係」です。入試問題では、学校空間の中で、先生に対して、またクラスメートに対しての思いが書かれています。自分が描いている人間像とはちがった一面が見られるという流れはよくありますので、そういうことにも意識して読解をしましょう。今回特に注意してほしい問題は、以下の通りです。

- ⊙ 問四 具体化の問題です。「律儀」の意味をしっかりとおさえてから考えましょう。
問七 傍線部の比喩表現に注意して具体化しましょう。
問八 選択肢の説明が長いので、違いに注意しながら考えましょう。
- ㍻ 問二 「心と呼応」がどういう意味なのかを考えましょう。
問八 理由記述の問題です。2か所ありますので注意しましょう。
問九 抜き出しで説明文を完成させる問題にも慣れておきましょう。
- 宿題 問一 場面分けは、まず時間・場所を手がかりにしてみましょう。
問六 心情をしっかりと読み取りましょう。

5年生後期で学習する単元は入試問題でもよく出題される単元が次々と出てきますので、しっかりととりくみましょう。

この講座は、日能研本科教室カリキュラムがベースになっています。本科教室で学んだことを深めることを目的にした講座となりますので、大切なことは、「本科教室をしっかりと理解した上で受講すること」です。この基礎にあたる部分を大切に、取り組むようにしてください。

動画の構成としては、まずは「例題」が各回3～4題収録されています。例題は動画を見ながら解法の手がかりとなる考え方を習得してください。例題の次には、練習問題として、例題の数値替えの問題が収録されています。機械的に数値を入れ替えて答えを出すのではなく、もう一度解法を確認しながら取り組むようにしてください。練成問題は、例題から派生した問題を中心に収録しています。このうち、例題から少し離れるタイプのうち、特に重要なものを動画で扱っています。

各回の学習の目安は以下の通りです。

◆第13回 速さと比 I

速さに「比を利用する」視点を加えると、一気に解ける問題が増えます。「比」と言っても、基本は速さの三公式です。どのように利用するのか、しっかりと学習しましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－速さと比①

「速さ＝道のり÷時間」です。表記上、比になっていても実数と同じように取り組んでください。

例題2－速さと比②

道のりが一定ならば、(速さの比)と(時間の比)は逆比の関係になりますね。あとは、比例配分をすることで、上りにかかった時間、下りにかかった時間が具体的にわかります。

例題3－速さと比③

BC間を上るか下るかで10分の差がつくことに着目します。ここでも、道のりが一定ならば、(速さの比)と(時間の比)は逆比の関係になることを利用します。

例題4－速さと比④

坂道に関する問題です。いくつかの解法がありますが、時間の合計に着目して、消去算に持ち込みます。ここでも、道のりが一定ならば、(速さの比)と(時間の比)は逆比の関係になることを利用します。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第14回 速さと比Ⅱ

具体的に時間を求めたり、道のりを求めて解くこともできますが、比を利用することですっきりと正答までたどり着きます。考え方は難しいですが、しっかりとチャレンジしていきましょう。

①「例題と練習問題」

例題1－速さと比①

具体的に兄や弟の速さを求めずに考えていきましょう。時間が一定であれば、速さの比と道のりの比は同じになります。

例題2－速さと比②

速さに比を利用する典型的な問題です。進行グラフの描き方や比の考え方をしっかりと学ぶ機会としてください。

例題3－進行グラフの利用①

兄と弟の2人の動きを進行グラフに整理していくと、考え方がまとまります。そこに比を利用すると、どのように解けるのかをおさえていきましょう。

例題4－進行グラフの利用①

例題3と同様に取り組みます。ここでは向かい合って進んでいく問題ですが、どのように比を利用するかを考えながら解き進めていきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第15回 速さと比Ⅲ

本科授業では出てきませんが、「流水算」を学びます。流れの速さを考えて取り組まないといけないので、混乱してしまいます。速さをきちんと整理していくと、今まで学んだ速さと同じになりますので、しっかりと取り組んでください。

① 「例題と練習問題」

例題1－流水算の基本①

流れに逆らって川を上ると遅く感じ、流れに乗って川を下ると速く感じる。よく考えれば当然のことです。整理して取り組んでください。

例題2－流水算の基本②

上りの速さ、下りの速さから静水時の速さ、流れの速さを求めます。速さの関係をおさえながら学習していきましょう。

例題3－流水算と比①

ここでは、道のりが一定ならば、(速さの比)と(時間の比)は逆比の関係になることを利用することで、具体的な速さにたどりつきます。

例題4－流水算と比②

ここでも、道のりが一定ならば、(速さの比)と(時間の比)は逆比の関係になることを利用することで、具体的な速さにたどりつきます。結局、流水算といっても速さの問題であることに変わりありません。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

② 「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。

◆第16回 立体図形

5年生前期の第1回が「立体図形」でした。そして、5年生後期の最終回も「立体図形」です。1年間で様々な学習をしてきたので、複雑な問題にも取り組めるようになったはずですが、ただし、立体図形を、テキストや黒板、ノートなどの2次元で理解するのは難しいものです。あせらずに取り組むように心がけてください。

① 「例題と練習問題」

例題1－曲線図形の求積

2つの円柱からできています。体積はそれぞれの和で求めることができますが、表面積は接合面を考慮しないといけませんね。

例題2－回転体

長方形を一回転させると円柱に、直角三角形を一回転させると円すいになります。複雑なものも

これらの組み合わせになりますので、まずは基本をしっかりとおさえましょう。

例題3 円すいの性質

円すいを題材にした問題は多く出題されています。特に、側面のおうぎ形は円全体× $\frac{\text{半径}}{\text{母線}}$ である

ことは必ず理解しておきましょう。

例題4 特別な三角すい

例題で取り上げている三角すいは、「特別な三角すい」とよばれ、多くの問題が作成しています。

展開図が正方形になることは必ず理解しておきましょう。

各例題の動画を見て理解したら、必ず練習問題に取り組んで、答え合わせをしましょう。そのとき、間違っていたら、どこで間違えたかをよく理解して、再度解き直しをするということを徹底してください。疑問点があれば、再度例題の動画を見てみましょう。

②「練成問題」

練成問題では、いくつか選択して動画で扱っています。その問題についてはしっかりと理解をしましょう。余裕があれば、残りの問題にも取り組んでください。ただし、理解には段階があります。時期を経て再び扱う問題もあるので、全部解かないといけないと思う必要はありません。